

2017 オールスターナイト陸上
秩父宮賜杯第57回実業団・学生対抗陸上競技大会
要項

- 1 . 主 催 一般社団法人日本実業団陸上競技連合、公益社団法人日本学生陸上競技連合
 - 2 . 後 援 厚生労働省、スポーツ庁、日本陸上競技連盟、神奈川県
神奈川県教育委員会、平塚市、平塚市教育委員会、毎日新聞社、湘南ケーブルネットワーク
 - 3 . 運営協力 一般財団法人神奈川陸上競技協会、東日本実業団陸上競技連盟、関東学生陸上競技連盟
 - 4 . 協 賛 ミズノ株式会社
 - 5 . 期 日 2017年7月22日(土)
開会式 16時30分 競技開始 16時45分 閉会式 20時20分
 - 6 . 会 場 ShonanBMW スタジアム平塚
 - 7 . 競技種目 ◇男子 10種目
100m、400m、1500m、110mH、400mH、100m+200m+300m+400mR
走高跳、三段跳、砲丸投、ハンマー投
◇女子 10種目
100m、400m、1500m、100mH、400mH、100m+200m+300m+400mR
走幅跳、円盤投、やり投、棒高跳
 - 8 . 参加基準 1チーム1種目3名、リレーは8名連記とする。
 - 9 . 選手団編成 両チームとも監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、競技者男女各35名以内で編成する。
 - 10 . ナンバーカード 実業団 1～ 学生 101～
 - 11 . 代表者会議 7月22日(土) 14時30分～
 - 12 . 得点・表彰
 - ・個人種目の得点は1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
リレーは1位6点、2位3点とする。
 - ・表彰は総合並びに男女各優勝チームと個人において優秀な成績を収めた競技者に下記の賞を授与する。
 - ・個人種目の表彰は第3位まで褒賞する。※2016年度大会より、2020東京オリンピックへ向け、陸上競技活性化のため、さらなる褒賞を与える。
 - ・日本記録、日本最高記録、日本学生記録、大会新記録を樹立した者には別の副賞を与える。
- | | |
|--|--|
| <p>【団体】</p> <p>総合優勝チーム：秩父宮賜杯
総合優勝チーム：内閣総理大臣杯
男子優勝チーム：文部科学大臣杯
女子優勝チーム：厚生労働大臣杯</p> | <p>【個人】</p> <p>最優秀選手賞（男子）：学生連合会長杯
最優秀選手賞（女子）：実業団連合会長杯
敢闘賞（男女）：平塚市市長杯
M I P 賞（男女）：河野一郎杯</p> |
|--|--|
- 13 . 宿泊・旅費 1) 宿泊は原則として7月22日(土)の1泊の希望者を本部負担とする。ただし、必要に応じて7月21日(金)の宿泊も負担することがある。希望者は理由を添えて申し出ること。

2) 旅費は、以下のとおりとする。

100km 未満…普通運賃

500km 未満…特別急行料金（新幹線含む）と普通運賃

500km 以上…特別急行料金（新幹線含む）と普通運賃及び航空運賃

ただし、学生は、学割料金とする。

14. ドーピング
コントロール

1) ドーピングコントロールテストは日本アンチ・ドーピング機構および日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会 HP (<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構 HP (<http://www.playtruejapan.org/>)、および日本学生陸上競技連合 HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2017年版」を参照すること。

2) 2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、そして日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年者（20歳未満）の競技者が競技会に参加する際、「未成年者同意書」（親権者による署名が必須）を持参しなければならない。本大会に参加する未成年者は、日本学生陸上競技連合 HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>)に掲載の未成年者同意書を熟読し、署名、捺印の上、競技会に必ず持参すること。未成年競技者はドーピング検査に指名されたときに、同意書の原本をドーピング検査室にてNFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、既に原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

15. その他

1) 出場競技者は、所属チームの公式ユニフォーム着用のこと。（2016年よりユニフォームの支給は行わない）

2) 両連合承認の競技者については、オープン参加することができる。

3) 当日競技会に出場しなかった者は、旅費・宿泊等は自己負担とする。

（不慮の事故等の場合を除く）

4) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は負わない。

5) 原則として学生、実業団ともに保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

6) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

7) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。